

## さらなる交流拡大に向けベトナムで「山梨」をPR

近

年、ベトナムから山梨を訪れる観光客や県内に在住する人の数が急増しており、本県とベトナムの交流は広がりつつあります。

こうした中、長崎知事は、政府関係者や全国の観光事業者らで構成する「日本ベトナム文化経済観光交流団」の一員として、1月中旬、ベトナムを訪問し、本県の観光資源や県産品のPRなどを行いました。



観光交流シンポジウムで山梨の魅力をPRする長崎知事(左端)

## 「山梨の日本酒」を広くPR

山

ダナン市で開かれた日本ベトナム観光交流シンポジウムでパネリストとして登壇した長崎知事は、観光客の誘致に向けて、富士山に代表される自然景観をはじめ、県産果実やワイン、日本酒など、山梨の魅力をPRしました。また、現地の知事らとの交流会では、山梨のPRに加え、さらなる交流の促進、産業の担い手となる人材の受け入れや育成などについて活発な意見交換を行い、相互理解を深める有意義な機会となりました。

今後も、ベトナムと幅広い分野において交流の輪が広がるよう、さまざまな取り組みを進めていきます。



交流の促進に向けて現地の知事らと意見交換

山

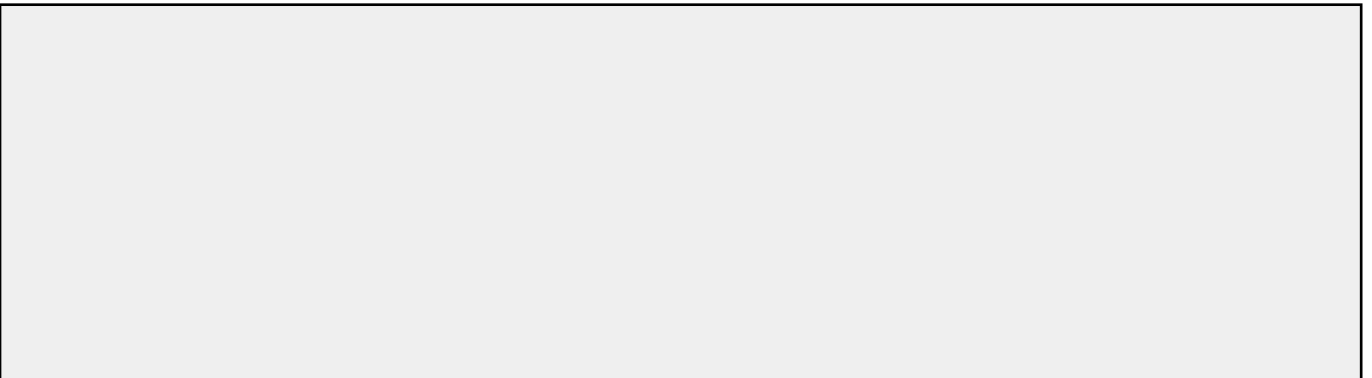
梨の清らかな名水で醸した県産日本酒を広くPRするため、1月下旬「山梨の日本酒 メイカーズディナー」が初めて開催されました。会場の東京・日本橋のレストラン「Y・wine」では県内七つの酒蔵が丹精込めて造った日本酒と、それに合う県産食材を使った料理7品が振る舞われ、メニューを考案したソムリエの田崎真也さんがフランス料理など洋食とのマリアーージュを紹介。参加したジャーナリストや酒類流通関係業者からは「山梨のきれいな水を感じさせる味わいだ」「他の酒類では合わせることが難しい料理とも相性が良い」など、高い評価をいただきました。

県では今後も、さまざまな機会を通じて、山梨の日本酒の販路拡大や魅力発信の取り組みを支援していきます。



田崎さんの解説を聞きながら、山梨の日本酒を味わう参加者

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。





山梨の今々をお届けする情報ページ

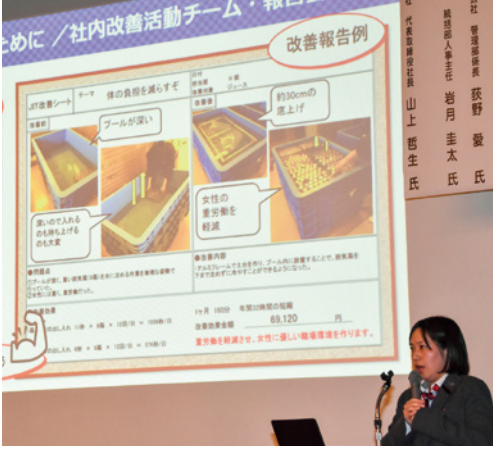
# 「YAMANASHIワーキングスタイルアワード」表彰 働き方改革に積極的に取り組む企業を応援

## 労

働力の確保が課題となる中、働き方改革は、働く人の意欲や能力の発揮、また、企業の人材確保にもつながると期待されています。このため県では、働きやすい職場環境づくりや育児・介護に関する支援、多様な人材の活用などを積極的に進める企業を表彰する「YAMANASHIワーキングスタイルアワード」を創設。第1回目の受賞企業として、優秀賞3社、奨励賞9社を選び、1月中旬に開催した働き方改革セミナー内で表彰式を行いました。



表彰を受けた12社の代表者と長崎知事(前列中央)



受賞企業が働き方改革の取り組みを発表

セミナーでは各企業の代表者が長崎知事から表彰状を受け取った後、優秀賞に選ばれた3社が働き方改革の取り組みを発表したほか、先進的な取り組みを実践する県外企業による講演も行われ、来場者が熱心に耳を傾けました。県ではこれからも、誰もが生涯を通じて、その人らしく働き、活躍することができ、環境づくりに向け、企業における働き方改革の取り組みを支援していきます。県の就職情報サイト「やまなし就職応援ナビ」で、受賞企業を紹介しています。ぜひご覧ください。



やまなし就職応援ナビ

# 自然保育の推進に向け シンポジウムを開催

## 子

子どもたちが豊かな自然を活用した体験活動による保育・教育を受けることは、自分や他者を大切に思う気持ち、郷土を愛する心を育むことにつながります。また、子育て環境の充実は山梨の魅力となり、子育て世帯の移住・定住を促進することも期待されるため、県では、保育所などにおける自然保育の導入を推進しています。

新たな取り組みとして、自然保育に積極的に取り組む保育所などを表彰する制度を創設するとともに、1月下旬「やまなし自然保育シンポジウム」を開催。他の模範となる活動を展開している県内五つの保育園や幼稚園の表彰と、各園の代表者による活動発表に続いて、専門家による講演会が行われました。



自然体験活動の意義について講演する日本保育学会会長の汐見稔幸さん

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

